

シンシナティ美術館展

アメリカに渡ったヨーロッパの至宝

ゴッホ 最晩年の傑作、来日

European masterpieces
from the Cincinnati Art Museum

2026年10月
上野の森美術館

主催:フジテレビジョン、東京新聞、上野の森美術館
監修:千足伸行(美術評論家・成城大学名誉教授)

cincinnati art museum



展覧会公式サイト

富山、名古屋、大阪へ巡回予定

フィンセント・ファン・ゴッホ《ボーラーの中の二人》(部分) 1890年

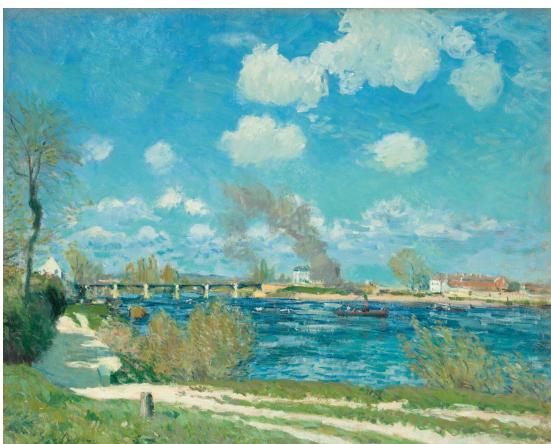
名だたる巨匠たちの作品がほぼ初来日! 巨匠たちの饗宴が始まる。

過去145年にわたり、シンシナティ美術館が収集してきた膨大なコレクションから、コロー、セザンヌ、モネをはじめとする選りすぐりの84点の来日が実現します。そのうち81点が初来日。これらの作品の多くは、20世紀半ば、シンシナティの地域社会に貢献した女性美術収集家たちによって寄贈されたものです。本展では、美術史の教科書から飛び出したような巨匠たちの貴重な傑作を展示し、近代美術を巡る旅へと皆様をご案内します。

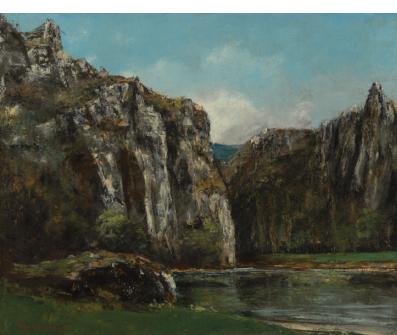
ゴ
ッ
ホ



シスレー
ティソ



ク
ール
ベ



左上から順に、フィンセント・ファン・ゴッホ《ボプラ林の中の二人》1890年/ピエール=オーギュスト・ルノワール《ガーンジー島の霧》1883年/ポール・ゴーギャン《マハナ・マア(眞実の瞬間)》1892年/アルフレッド・シスレー《ブージュ瓦ル》1876年/ジェームス・ティソ《日本の美術品を眺める若い女性》1869年/エドゥアル・マネ《競馬場の女性たち》1866年/クロード・モネ《ペリールの岩場、ポール・ドモワ》1886年/ギュスターヴ・クールベ《ジュラ山脈の峡谷》1873年/ポール・セザンヌ《レモンのある青い静物》1875年頃/ウィリアム・アドルフ・ブグロー《粥を食べる少女》1874年

EUROPEAN MASTERPIECES FROM THE CINCINNATI ART MUSEUM



シンシナティ美術館とは

シンシナティ美術館は、1881年に創立されたアメリカ合衆国オハイオ州シンシナティにある最も古い美術館の一つ。73,000点以上の多様で網羅的なアートコレクションを有し、ヨーロッパの著名な画家による近代美術作品を多数所蔵している。幅広いコレクションに加え、同館では毎年国内外のアーティストによる特別展を企画・開催している。一般入場は無料。

cincinnati art museum



シンシナティ美術館
公式サイト